

熊本地震から5年

～ 熊本地震、緊急消防援助隊活動写真展示 ～

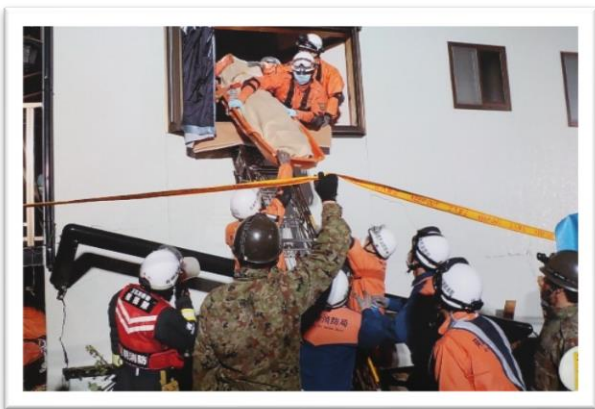
熊本地震は、2016年（平成28年）4月14日21時26分の前震と4月16日1時25分の本震が発生し、主に益城町と西原村で震度7を記録した地震です。

一連の地震で、倒壊した住宅の下敷きになったり、土砂崩れに巻き込まれるなど熊本県で50人の死亡（直接死）が確認されました。

また、避難生活によるストレスや持病の悪化などで亡くなる震災関連死も相次ぎました。16日未明の地震後、避難者は最多で18万人を超え、住宅の倒壊、市町村の庁舎、小学校、中学校、高校、病院、熊本城、大切畑ダム、藤崎台県営野球場などの公共施設の被害も多数ありました。

14日に発生した前震を受け、消防庁長官からの出動の求めにより九州地方の各県を中心とする計10県から緊急消防援助隊が熊本県へ向け迅速に出動しました。その後、16日に発生した本震を受け、さらに被害が甚大なものになることが予想されたため、中国・四国地方の各県を中心とする10都府県が緊急消防援助隊で出動し、山鹿市消防本部を拠点として京都府隊と兵庫県隊が活動しました。延べ16,000名の消防職員が救助活動等を行いました。

この熊本地震から5年が経過することから、地震の恐ろしさを市民の皆さまに再度認識してもらい防災意識を高め、この災害から得た教訓や伝承をしっかりと引継ぎ、風化させないように山鹿消防署1階ロビーに4月14日（水）から4月25日（日）まで、緊急消防援助隊活動写真を展示します。



益城町 倒壊家屋からの救出状況



益城町の被害状況



南阿蘇村高野台地区 搜索現場



阿蘇大橋崩落現場